

自治会連合会会報

第15号

自治会・町会・地区・区は地域の輪

自治会・町会・地区・区では、地震・風水害等の災害に備えての自主防災活動や要援護者の避難支援、青少年の健全育成、交通安全パトロール、環境美化活動、住民同士の交流を深めるための活動等を行っています。地域の輪を広げるため、自治会・町会・地区・区に加入しましょう。



内牧黒沼公園の蓮（花の見頃7月上旬）

● 主な内容 ●

- 自治会・町会・地区・区の特徴および活動状況の紹介、役員視察研修会報告
- 豊春地区の紹介、地域貢献賞表彰報告、地域ぐるみでオアシス運動

平成22年度活動報告

- 定例総会…………… 平成22年 5月13日
- 自治会活動の手引き発行…………… 5月13日
- 春のクリーンデー…………… 5月30日
- 正副会長会議…………… 4月14日他 7回
- 理事会…………… 4月14日他 6回
- 役員研修会…………… 11月18・19日
- 各地区体育祭の実施
 - 粕壁地区体育祭……………10月11日
 - 内牧地区体育祭……………10月11日
 - 武里地区体育祭……………10月11日
 - 武里団地地区体育祭……………10月11日
- 豊春地区体育祭…………… 10月3日
- 幸松地区体育祭…………… 10月11日
- 豊野地区体育祭…………… 2月別途開催
- 庄和地区体育祭…………… 10月11日
- 研修会…………… 23年 2月19日

講演

【演題】「笑顔の防犯活動～元気なアイサツは無敵です！～」
 【講師】落語家 三遊亭 多歌介 氏

- 地域貢献賞表彰…………… 23年 2月19日

【協力事業】

- ★日赤社資・社協会員の増強への協力
- ★赤い羽根、歳末たすけあい等募金運動への協力
- ★「春日部市レジ袋大幅削減のためのマイバッグ持参運動の推進に関する協定」を市と締結し、容器包装ごみの削減に協力
- ★災害時要援護者避難支援へのモデル自治会として協力
- ★ごみの5分別収集への協力
- ★自主防災・防犯活動への協力

【その他】

- ★各種審議会等への委員選出
- ★各種行政機関との連絡調整 等

我が街の活動紹介

● 順不同 ●



藤塚新田集会所



藤塚新田自治会

自治会長
白石栄蔵

私たちが住む藤塚新田自治会は藤塚地区の中央に位置し、西に大落古利根川、東にスーパーカスミ、ホームマックがあります。中央には、藤塚幼稚園があります。

当地区は現在434世帯が加入し、ここ数年の間は世帯数の増加傾向にあります。

自治会組織は、会長1名、副会長2名、監査2名、相談員1名、班長27名で運営しています。

毎月2日に班長会議を開催し、広報の配布、行事の連絡、情報交換などを行っています。その他にクリーン推進員7名、藤塚小学校見守隊14名がいらっしやいます。

年間の活動は27の班のもと週1回の夜間の防犯パトロール、新年会、忘年会、夏の懇親会、古利根川の清掃、総会、春のクリーナー、シルバー70歳以上の食事会、豊野地区体育祭の参加、防災訓練、12月中の地区内の清掃などを行っています。

また2つのグループの「カラオケ会」があり、毎月第2日曜日、第4金曜日に地区集会所で楽しく愉快に自慢の歌を披露しています。そして「子ども会」も活動しています。

またクリーン推進員さんが地区内のゴミ出し状況や、2か所の公園も毎日見てくださっていて、地区内の美化に役立っており大変感謝しております。

当地区も若い世代も増えていますが、高齢化も進んでいます。地区の皆さんと共に安全で安心の住みよい地区でありますよう活動をしてまいりたいと思っております。

皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



東急武里自治会

自治会長
小林 主

東急武里自治会は、東武伊勢崎線武里駅、一ノ割駅間東側に位置し、西に備後小学校、東に



ボーリング大会(武里パールレーン)

正善小学校があり約500世帯が暮らす広大な住宅街です。開発時から40数年になり、現在では大変高齢化した地域となっております。住民の多くはサラリーマンで東京に近いベッドタウンとして発展してきましたが、地方出身の方が多いためか、人間関係が、孤立的になっていくのが難点です。自治会の組織は、会長、副会長、事務局長、会計、監査、地区長、班長で構成され、

7つの事業・防犯、道路・環境、衛生・広報、慶弔、助成金・親睦、リクリエーション・大規模災害対策組織・自治会館管理運営・踏切対策、に区分し各担当役員(正・副)が積極的に活動しております。毎月1回4役員及び役員会を実施し、年2回役員と班長の合同会議を行っています。自治会活動の大きな目標は、各班内の親睦を兼ねた人的交流による情報交換です。



内牧一区自治会

自治会長
大塚 栄一

65歳以上の高齢者が80%以上で老夫婦と老単身者が目立ってきており大きな問題になりつつありますが、少しでも住みよい環境作りに役員一同、日夜努力しております。また、自治会館を有効に活用して親睦を兼ねミニ集会や趣味の会を次々と発展させており、これからは会員相互が協力し大きく育てて行くことを願っております。現在の大きな課題は、青年層が自治会に参加しないことですが、これも会則を変更(リクリエーション事業部の設置)して若い方達がどんどん参加していけるような、活気ある自治会にしていきたいと願っております。

内牧一区自治会は市の北西に位置し、さいたま市岩槻区と隣り合わせの所です。年々戸数も増えていますが、農業を主とした地域です。産直の里として梨、ブドウ、トマト、ブルーベリー、柿、栗の産地として年間多くの人達が観光農園に訪れています。自治会の年間行事としては春のクリーナー、夏祭り、秋の市民体育祭が主な行事です。夏祭りでは市内パレードの前に地元



清寿園の夏まつり

清寿園（高齢者施設）で、神輿の披露を行っており、皆さんに大変喜ばれています。地域の活動としては内牧小学校の前身である寺子屋のあった鶯香取神社の初詣り、夏の例大祭、新嘗祭の世話役、一千年の昔から祀られている由緒ある東雲山楽応寺薬師如来の清掃管理、正一位藤森稲荷大明神の清掃管理を行い安全祈願をしています。また、婦人部によるくらしの会では種蒔きから収穫まで行い味噌造りをしていきます。出来上がった味噌を各施設に贈り大変喜ばれています。コミュニケーションの場としても輪が広がっています。学童防犯については終了時家庭への送り、内牧小学校放課後子ども教室（10月11月12月実施）の折スタッフとしても活動しています。地域の防犯として青色パトロールカーに乘車、ATM設置場所や内牧全体の巡回を行っています。警察の話では

巡回を始めてから犯罪が減少したとの報告がありました。パトロール巡回は地域の安全の為に続けて行きます。今後も各行事活動において1人でも多く参加して下さるよう努力して行きます。

豊町南立野自治会



自治会長 海老原秀夫

私たちの豊町南立野自治会は市の南西部に位置し、北側にユリノキ通り、東側に立野小学校がある住宅地域です。当地域は昭和50年初めごろ開発された住宅地で、当時は周りに何もありませんでした。

現在210世帯で、これを12班に編成し、各班から2名の役員を毎年選出して、役決めをしています。



炊き出し訓練

自治会の組織は会長1名、会長代行1名（任期2年）、副会長1名、事務局4名、会計2名、文化体育部4名、環境推進部5名、防災対策部4名、広報部2名、自治会館部2名、会計監査2名（任期1年）、計28名で構成されています。

役員会は毎月1日に開催し、計画された事業の実施についての説明や実施後の結果報告、発生した問題の検討、市広報の配布などを行っています。

年間の主な活動は地区体育祭への参加、どんと焼きの実施、スポーツ広場・公園・自治会館内及び周辺の清掃、街路灯点検・保守管理、防災訓練・炊き出し訓練の実施などです。

今後は住民の高齢化の進行に伴い、自治会活動を柔軟に対応して、住みよい地域にしていきたいと考えています。

新生三区



区長 高田正幸

新生三区は今は栃木県益子市に工場が移転されたリズム時計株式会社の社宅用地でした。

東武野田線の南桜井駅から川間方面に向かって1つ目の踏切の右側になります。旧リズム時計にゆかりの人達が



自主防災訓練

が多く、地区内の交流はスムーズに活動しています。

区としては小さく今年32軒になりますが高齢者が多く、95歳を最高に高齢者が7割に達します。

地元の行事に参加出来る年齢層がなく、不参加となり、見学すら足が問題になります。子どもは3名の家が1軒あるだけです。

区の運営は、区長、会計、組長2名の4名を役員として活動し、何かあれば役員会を開催し方針を決めることにしています。

- 春・秋のクリンデー
- 春・秋の交流グラウンドゴルフ
- 秋の自主防災訓練
- 年1回の新生地区三世交代流会
- 新生公園維持管理
- 資源回収

資源回収は毎月第3日曜日に

新生地区が合同で実施し、地元の大切さを実感し、売上金は世帯数ベースに分配され、区費の財源となり行事に活用されています。また、年に1度、お楽しみ会を開催し、多くの人達の交流を図っています。当地区には、防災用井戸ポンプが丸山製作所の御好意で設置され、ダストボックスの洗浄水として活用しています。

仲町町内会



町内会長 種村 孝

私たちの仲町は、春日部市の中の粕壁のほぼ中心に位置し、春日部駅の東口は仲町の中にあります。昔の宿場町の名残りを留め、土蔵造りの旧家は何軒か未だにその堂々たる威厳をみせています。また、現代俳句の偉大なる俳人、加藤楸邨の住居があったのも仲町でした。戸数と致しまして約二〇〇戸、それに最近新しいマンションが町内に建築され、新も旧もマンションが全戸管理組合を通じて町内会に加入して頂き、皆さん夏祭りや育成会の行事等一緒になって汗を流し楽しんでおります。町内会の組織といたしましては青年部・婦人部・福寿会・育



仲町集会所

成会と4部会あり、青年部は夏祭りと体育祭の全種目参加を目指し、その他火の用心等、育成会と連携して子どもたちに遊びの楽しさ等を体験させ、且つ町内会の行事に参加する連携さを感じとって貰えるよう頑張っておりです。婦人部は夏祭りや体育祭の裏仕事、また婦人部だけの楽しいバス旅行等、福寿会は60歳以上でいきいきクラブ連合会の体育祭また親・子・孫の交流を図り皆さん気を揃えて活躍しております。育成会は団体活動の楽しさを勉強させて頂いており、大変団結力のある各団体の活動ぶりです。また、昨春秋より工事中だった仲町集会所が新築完成し、一月十五日に市長さんをはじめ、国、県、市の議員さんたち、近隣の町会長さんのご参列とご祝辞を頂き、盛大に会館の落成式を行いました。

もそもそ、40戸の農家組合から始まり全戸の家族構成までも分かってしまう状況でした。昭和40年代から、あちこちで宅地開発が盛んになり、当地区の一部においても年々宅地化が進行し、今では200世帯を擁する地区となりました。15の組から地区を構成し、地



西不動産野地区

地区長 高崎光英

来賓の方々のご祝辞を町内の方々は嬉しく感じ取れたようでした。私たちは今でもIDC大塚家具の会議室を無償で利用させて頂いていただいておりますが、今後も引き続き大塚家具にお世話になり会館を利用して貰いながら、また自分たちの城が出来て、これを利用して今後の町内活動に役立たせ、町内会各位の親睦等に大いに利用して貰おうと考えております。

当地区は、春日部市域の最北端に位置し、南は国道16号、東は一級河川倉松川、西は国道4号、そして北は杉戸町(大字本郷)に接する田園地帯です。

小字名にはその当時の人の名前(〇〇右エ門等)が付けられているという特徴のある土地です。



地域コミュニティ中心の場

区長、副地区長(現在欠)、会計、組長、監事の役員体制で運営しております。さて、特色はありませんが地区の紹介をさせていただきます。まず第一に昭和53年待望の地区集会所が完成し、かつ同一敷地内にはちびっこ広場及び下谷神社(写真)があり、まさしく地域コミュニティの中心となる場として、大きな存在価値があります。過去には青年会が組織され、盆踊り大会やもちつき大会などが盛大に実施されました。第二に当地区は小学校区が幸松小、小淵小と2分されており、一部で組が2分されているケースもあります。学校単位のPTA活動はそれとしまして、地区としては校区を越え横申しをさしての交流が要求され、子ども会組織に対する期待は一層大きなものがあります。第三に直接的な地区活動では

西10分くらいの古利根川沿いにあります。古利根川にある三本木公園では、最近桜の満開時期には多くの人が来るようになり有名になりました。さて、私たち自治会の構成は自治会長1名、副会長2名、見守り隊長1名、子ども会会長1名、班長24名、会員数は320世帯です。自治会活動としては、春は花見、夏はじゃがいも掘り大会、流しそうめん大会、秋はいも煮会と年々盛んになってきております。また、子



三本木自治会

自治会長 高橋栄二

ありませんが、接する杉戸町の方と氏子を共にして、神社を護っている所が一部にあります。昔からの行政界を越えた、人の結びつきがしっかりと受け継がれています。第四に地区内には20余の事業所が存しますが、地区の運営に對しては多大なる支援をいただいております。最後に事業遂行に絶大な協力をいただいている当地区の皆様、また連携の隣地区である東不動産野地区の皆様にご感謝とお礼を申し上げます。



流しそうめん



どもたちの通学の見守り活動、防犯パトロール、ふれあい食事会等の活動も行っております。当地区内ユリノキ通りが南桜井まで開通しますと交通問題、人口増加によるごみ問題、班の編成、子どもたち学区の問題等がおこることが考えられます。役員や地区住民と相談して解決していきたいと思っております。当自治会は、流しそうめんやじゃがいも掘り、いも煮会等を通してお年寄り子どもたちとのコミュニケーションをとり、地域の交流と親睦を深めたいと思っております。



増田新田地区内の環境整備

増田新田地区は、武里の南西部に位置し、面積はおよそ50町歩であります。その後都市化の影響で住宅団地ができ、またいろいろな事務所、食堂ができましたが今でも20町歩位の豊かな田園が広がっております。

増田新田地区自治会



自治会長 **関根 孟**

しかも当地域は農業振興地域に指定されております。その中で昔は10戸の戸数でありましたが、現在は23戸と増加しました。農家も非農家も協力し合って活動しています。特に環境の美化が昨今問題となっておりますが、地域内に「水管理組合」と云う組織があり、その組織と協同活動しているのも一つの特徴となっております。毎月第1日曜日

には全員で地域内道路や水路など清掃活動や水路補修作業など行っております。また春、秋の水路清掃には農耕者全員で行っているのも他とは違った方法です。その他地区の行事には「新年会、祭礼、くんち祭」などがあり全世帯の協力をいただいております。また武里地区体育祭などは大場地区のご理解も頂き、新田増田地区として参加させて頂いております。自治会の役員はもとより地区内全ての役は一年交代制をとって、みんなが役員の経験をしてもらって、地区を盛上げているところです。従って何の異論もなく進行しております。今後もこのような日々が続き、円満な地域として発展することを望んで止みません。

下蛭田自治会



自治会長 **遠藤和男**

下蛭田地域は隅田川農業用水路が、花積地域との境です。花積は8メートル程高い台地のため、その頂に住吉神社が昼でも暗いほどの樹木が鬱蒼と茂り、水と学問の神・鎮守の森として下蛭田村を見守っていたと明治中期の記録に残っています。しかし、昭和4年頃の東武野田線の開通で農業用水路に囲ま



豊春演芸のつどい

れた三角形の土地は尖った危険物になってしまいました。昭和45年頃、春日部市庁舎の建て替えて、地盤が弱いことから、下蛭田の村社住吉神社の土地を市庁舎の周りに泥として運び込まれた事は、鎮守の森に対する畏敬の念を崩壊させ、緑を大切に、地域の空気が薄れさせた後遺症が、日本から世界の環境を蝕みつつ、優れた方に宿る傲慢の悪病を生じさせてしまいました。

下蛭田は東に増戸、西に花積、北に上蛭田、南は岩槻領です。面積は約500メートル四方ほどで、その半分は田んぼです。世帯数は475、自治会役員は常任が15名、監査2名、顧問1名、班長41名、ブロック長8名です。

同好会(補助金を出す)はひまわり会(高齢者)、子ども会、氏子(社寺)等があります。

事業は①防災(組織と人づくり)②防犯活動③社会福祉活動④各種募金推進⑤環境衛生クリーンと美化⑥健康増進の体育活動⑦コミュニティ世代交流⑧十年先集会所建設資金準備中、そのためにも、今年の自治会の目標は、自治会を市長の認可を受け「認可地縁団体」法人化に地域住民が一つにまとまる事を、日々祈りながら実感したい願いです。応援請う。

米島第三区



区長 **那須誠二**

我が米島第三区は市の東南部にあたり、住民の通勤・通学に便利な住宅密集地の一角にあり、450世帯を要する自治会です。地域内には川辺小学校があり、子どもたちの活気を身近に感じる環境にあります。当自治会は米島自治会から平成5年に米島第三区として発足しました。

自治会の構成は区長1名、副区長3名、会計2名、監事2名、地域を3つのブロックに分けてブロック長3名そして班長28名で構成し、毎月一回役員会を開催9名で運営しています。

年間行事を紹介いたします。4月には定例の総代会、会計年度は4月1日〜翌年3月31日まで



恒例の夏祭り風景

す。6月にはボウリング大会、8月には区最大のイベント「夏祭り」、防災訓練、グランドゴルフ大会、庄和地区体育祭への参加、特に夏祭りは毎年ゲスト出演を依頼し開催しています。当日は、焼そば、焼鳥、フランクフルト、生ビール等用意し、広場には400名前後の参加者でにぎわっています。手作りの樽神輿に多くの子どもたちも大変よろこんでいただいています。

ミ出し状況をよく見てくださり大変感謝しております。
 これからも安全、安心の住み良い地域作りを目指して参りますのでご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

八木崎自治会



自治会長
高橋 昌男

「あつたかタウンやぎさき」を私共のスローガンとして、地域の皆様に広めています。東武野田線八木崎駅を中心に、800余（実数は約1300）世帯が住んでいます。会員世帯から納金された会費で、自治会事業、行事及び、各種団体の活動資金にあてられています。役員は、会長以下12名の本部役員、東西南北を10区の長及び、57班長で、構成され其のほか21名の各推進委員が活動しています。次に各種団体を紹介します。長寿会、婦人会、育成会、子ども会、おはよう会、花植え会、及び壮年ソフトボールチームが活動しています。なかでも活発な活動著しい育成会は、毎月の資源回収を、天候に左右されず年間を通して、地域の皆様の協力により実施し、素晴らしい実績を上げています。青少年の健全なる育成を子ども会と協力し、ほかに

も自治会行事への積極的な参加協力、及び各種団体との連携を密にした活動は誠に素晴らしいものです。年末には資源回収の協力に感謝して、大勢の参加のもと盛大に餅つき大会を行います。花植え会は、荒れ放題でした旧税務署跡地に、四季を通し素敵な草花を育てており、通勤通学、及び道行く人々を魅了しています。日頃有志の方々が、丹念に心を込めての活動には感謝の気持ちでいっぱいです。

5年程前から始めたことが、芽吹き、花咲いたことにうれしく思います。おはよう会では毎朝6時30分からのラジオ体操を通し、健康の増進、体力の向上、及び参加されている地域の方々との親睦も深まっています。地域最大の夏祭りを始め、盆踊り、子ども相撲大会及び、ちびっこソフトボール大会等、地域全体が盛り上がりします。一方昨年11



育成会の感謝の餅つき大会

月から「八木崎街づくり研究会」が発足し、安全、安心な街づくり、暮し易く、隣り近所の方々が助け合いの気持ちを大切に、何よりこの地域が先人の残してくださった素晴らしい財産、資源を大切に、今後も住民の皆様と共に、次の世代に引き継ぐことが、私共の使命です。

樋籠柳原地区



地区長
小林 政敏

私たちの地区は南に県道西金野井線、北に国道16号線、東に新倉松川、そして西に天神神社に囲まれた地域です。世帯数は150前後で6組と団地で組織しています。地区役員は地区長、副地区長、組長、会計、監事、相談役、クリーン推進員、民生委員、体育振興委員で構成され必要に応じて役員会を開き、円滑な事行運営に努力しています。年間行事として総会、役員会の開催、春秋のクリーンデー、幸松地区体育祭の参加、コスモス花見会、見守り隊、天神神社の春秋の祭典、元旦祭などを実施しています。地域の伝統行事として学問の神様である天神神社の祭典が3月・11月に氏子総代をはじめ、多くの方の出席を頂き行われております。暮れには



コスモス花見会

元旦祭を行い、75歳以上の方に長寿の祝を届けています。10月には体育祭に参加しております。また、コスモス花見会では、役員班長の協力により、種取りから種まきとご苦労を頂き、花見会の際には、お米の掴み取り、やきそば等の振る舞いで子どもからお年寄りまで大勢の参加をいただき盛大に行われています。5年前より多くの皆さまに参加いただいている見守り隊は、牛島小学校と連携し、児童の下校時間に合わせて2名1組で2ヶ所に分かれ、週1回子どもたちの安全を見守ると共に、防犯の啓発活動を実施しています。これからは少子化、高齢化が進み、益々地域の活動が必要になってきます。そこで地域のおれあい、輪が広がっていけば良いと思っております。今後も頑張ってまいりますので、ご支援、ご指導の程お願い申し上げます。

東急南桜井自治会



自治会長
藤田 巖

私たちの東急南桜井自治会は、南桜井駅から徒歩15分ぐらいのところの国道16号を超えたところに位置しており、近くに庄和高校、庄和総合支所があります。自治会地区内には遊歩道や公園があり、道路沿いも含めて60数本の桜もあって、緑と季節の花の咲く住宅環境に恵まれた地区です。自治会は107世帯を10班に分けて、各班から選ばれた理事10名で会長、副会長、会計など役割を決めて運営しています。環境整備を担当する理事を中心に樹木の剪定、害虫駆除や会員全員参加による年2回の草刈りで、会員の協力と融和のも



自主防犯パトロール

とに環境美化に努めています。

防災、防犯活動では防災訓練と地区内に配備された消火器のチェックを毎月実施しています。

防犯活動は、地域防犯推進委員を中心に16名の自主防犯団が組まれており、毎月4名交代で地区内とその周辺を毎日パトロールしています。児童の登校時には交通整理をしながら、子どもたちを見守り、夕方から夜にかけては、拍子木を鳴らし防犯灯のチェックもしながらパトロールをしています。

高齢化が進みますが安全で安心して暮らせる環境の地区を目指して努めています。

大枝地区自治会



自治会長 駒崎 幸男

私たちは大枝地区自治会は、古くは新方領に属する大枝村と称し、東は大泊村、南は恩間村及び上間久里村、西は大畑村、北は平方村と接しており市南部に位置する農業を専業とした地域でした。

しかしながら時代の移り変わりと共に、地理的要件等様々な事情により人口も増え、職業も多種になり、生活様式も変わり、そして自治会組織も見直されてまいりました。

当時の大枝村は総戸数62戸、人口272人という記録が残っているところだ。

現在は、6つの自治会に分かれて活動しており、その1つである当自治会においては、加入戸数が約850戸を数えています。

そのような昨今ですが、自治会活動を推進するうえで最も大切なことは地域に密着したコミュニケーション活動であると思います。

当自治会では主な活動として、新春の集いを始め餅つき大会、歩こう会等誰でも参加できる事業を計画実行しております。

大枝公園を利用したグラウンドゴルフ、また長寿会・子ども会等々においても積極的に活動され、またクリーン作戦などボランティア活動も協力的に行われております。

私たちが生活している大枝は私たちが創り護るんだと一人一



神楽祭

人が実感し、明るく・楽しく・元気よい大枝地区自治会と自負しております。

行政では困難と思われる地域密着の活動が自治会・町内会に与えられた使命と考え、より多くの方の意見に耳を傾け共通点を見いだし、より良い自治会活動を推進して参りたいと考えておりますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

立野区



区長 嶋 清

立野地区は国道4号線と県道西宝珠花・春日部線の交差点が地区中央に位置する、田園風景が広がる農業振興地域となっております。

地区内には市指定有形文化財として、延命院の木造阿弥陀如来坐像と立野天満宮本殿の2件が指定されています。昨年「かさかべ郷土かるた」に『ランドセル 背負ってお参り 立野天満宮』の札が採用されて地元では大変喜んでいました。

今年度は、この2施設が文化財防火デー防災訓練の対象になり、市・教育委員会主催により1月23日に実施されました。当日は、社関係者を始め庄和第2分団等の消防関係者、立

野地区からは、自主防災会を中心に約50名が参加し、総勢100名近くの一大イベントとなりました。大勢が見守る中、自主防災会消火班による放水訓練も行われ、日頃の訓練の成果を示す良い機会となり、大いに士気も上がりました。

他の事業としては、8月に三世交代交流事業を行っています。マグネットゲームなどのゲームを楽しんだ後は、パーベキューを囲んでの歓談となり、地区会員の交流を深めています。10月の庄和地区体育祭への参加、11月はグランドゴルフ大会の開催、2月は全世帯参加による地区内排水路の浚渫・清掃等を実施しています。

これからの少子・高齢化社会に向けて、ふれあい交流事業を充実させ、地域の連帯や絆を深め、地域の皆さんと共に安全で安心な住みよい地区を目指していきたいと思っております。



文化財防火訓練

役員視察研修報告

去る平成22年11月18日・19日、「地域安心安全ステーション整備事業」と「災害時の要援護者避難支援制度」について、先進地である東京都分寺市と山梨県甲府市を視察しました。両市は、それぞれ地域の安心安全のまちづくりと危機管理対応に取り組みされており、災害時要援護者避難支援マニュアルでは、登録制度による要援護者名簿に基づき、地域の支援者が安否確認や避難の介助を行う支援体制づくりに努められていました。研修を通して、要援護者の個人情報保護や自治会未加入による地域コミュニティの希薄化など、地域支援体制における様々な課題を再認識したところです。

当市におきましても、「災害時の要援護者避難支援制度」が試行導入され、モデル自治会を通して地域支援体制づくりが始まりました。今後は、地域全員で協力し助け合うべく、自治会加入を勧めながら、要援護者避難支援制度に地域支援者として自治会が協力をしていきたいと考えています。



豊春地区の紹介

豊春地区の前身は豊春村です。豊春村は明治22年に12の村が合併して成立しました。

村名は「年々耕作の豊に熟して春和の候の如く合併各村和熟せんことを望むに在り」という意味を込めてつけられたとのことです。

文化財は、東光院・花積貝塚・古隅田公園（やじま橋）・満蔵寺（お葉付イチョウ・梅若塚）・業平橋があり、伝統行事としては、下大增新田の虫追いと新方袋香取神社のオビシャ（弓矢的を射る）が現在も続いております。

豊春地区の人口は、43,540。世帯数17,638（11/1現在）ですが、自治会に入っている世帯数は、11,478で未加入世帯数が35%あり、加入率が低いのが課題の一つです。豊春地区自治会連合会は自治会数28で組織されていますが、登録自治会の中には2～4の自治会が連合として組織されており、その中の1自治会（世帯数100）が一昨年連合会から分離独立しましたが、市自治会連合会手引きにより、市自治会連合会に登録できないのが二つ目の課題です。豊春地区自治会連合会としては定例会を毎月第3土曜日に開催し、報告・連絡・相談をテーマにして、生活環境の充実、福祉向上、防犯等の連携と行政からの通達の浸透を図っております。また、地区支部社協、地域包括支援センター、地域防犯推進連絡会、補導会と連絡を取り合い、安全で安心して明るく暮らせる街づくりを目指しております。

●豊春地区自治会連合会（28自治会）

【敬称略】

自治会名	代表者名	自治会名	代表者名
谷原中央自治会	薄井忠晴	増戸地区自治会	小暮恵治
谷原一丁目町会	廣田信夫	上蛭田地区	新井正治
谷原二丁目町会	高橋宣雄	上蛭田西自治会	吉田敏雄
谷原三丁目町会	萩原清	下蛭田自治会	遠藤和男
大沼ゆりの木自治会	田代一二	下蛭田中央自治会	永田幸太郎
下谷原地区自治会	佐々木功	花積地区	田辺武
上大增自治会	小島喜作	花積西自治会	斎藤進
下大增自治会	阿部光雄	道口蛭田地区自治会	斉藤和男
豊町自治会	伊藤和夫	ルネ春日部自治会	奥本正昭
豊町東地区自治会	唐澤靖夫	南中曽根地区会	中澤清
豊町西地区	清水三郎	宮川自治会	鶴見征亮
豊町南立野自治会	海老原秀夫	新方袋連合自治会	山口潤
増富地区	石塚慶雄	サニータウン春日部自治会	菅谷美登利
増富東地区	角田昇	(八木崎文化村自治会)	矢島章好

*連合会名簿順

(平成23年2月1日現在)

豊春地区自治会連合会 会長 清水 三郎

地域貢献賞表彰報告

当連合会では、身近な地域で地道にかつ顕著な活動をされている方々の功績を讃えるため、平成20年度に地域貢献賞を創設し、今年度は平成23年2月19日に表彰をさせていただきました。ここに、受賞者のお名前を掲載し、長年地域に貢献いただいたことに深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には、地域活動に関心を高めていただき、心豊かに安心して暮らせる地域社会づくりにご協力をよろしくお願い申し上げます。

○公共生活・生活安全・環境美化・社会福祉への貢献

自治会名	氏名
一宮町町会	寛田敏雄
内谷町町会	中川喜代子
八木崎自治会	高田陽一郎
栄町二丁目町会	菊地一
栄町二丁目町会	義井昭吉
栄町三丁目町会	山口三郎
正善第二自治会	登坂力之
一ノ割根耕地自治会	青田英典
武里中野地区自治会	高橋典子
谷原中央自治会	刀襦力夫
豊町西地区	板橋橋愛
八丁目下組地区会	篠崎キヨ子
東不動院野地区	栗原秀雄
西不動院野地区	谷利正
銚子口自治会	倉持桂一
本田自治会	小嶋登美子
藤塚新田自治会	鳥居貴代美
桜台二区自治会	田中忠造
三井南桜井自治会	植田正造
塚崎区	金子進造

※敬称略

地域ぐるみでオアシス運動

オアシス運動は挨拶の言葉の頭文字をとったもので、

- オ：「おはようございます」
- ア：「ありがとうございます」
- シ：「失礼します失礼しました」
- ス：「すみませんすみませんでした」

を日ごろから言うように、家庭・学校・地域で「あいさつの輪」を広げましょう。

編集後記

冬は、大変寒さの厳しい日々が続きました。

さて、本年3月11日に我が国でも未曾有の東北地方太平洋沖地震が発生しました。被災された皆様によりお見舞いを申し上げます。

東京電力の管内では、計画停電など国民の皆さんが一致団結して協力していますが、今回の震災で、自主防災を組織する自治会や近隣の皆さん同士の助け合いの重要性が再認識されました。「災害発生後3日間は自分たちで生き抜く」という教訓から、災害に地域全体で備えることを痛感したところです。先ずは、今回掲載した記事のオアシス運動のように、「あいさつの輪」を地域ぐるみで広げましょう。

編集委員氏名

- 会長 時田 美野吉
- 副会長 関根 慶剛
- 副会長 板倉 肇
- 副会長 久保谷 哲夫
- 副会長 清水 三郎
- 副会長 石島 忠夫
- 副会長 稲葉 稔

発行日 平成二十三年四月一日
発行者 春日部市自治会連合会
事務局 春日部市役所市民参加推進課内
〇四八(七三六)一一一一